

2020 年 9 月 2 日

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 切除不能膵癌に対する modified FOLFIRINOX 後の conversion surgery の治療成績に関する観察研究」への協力をお願い

消化器内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2014 年 1 月 1 日～2020 年 3 月 31 日の間に、切除不能進行膵癌に対して modified FOLFIRINOX で抗癌剤を受けられた方のうち、その後外科的手術（conversion surgery）を受けた方。

研究期間：倫理審査委員会承認日～ 2022 年 12 月 31 日

研究目的・方法：

膵癌は診断時切除不能であることが多く、予後の悪い病気とされています。近年、切除不能進行膵癌に対する抗癌剤治療の進歩にともなって、抗癌剤治療で腫瘍が縮小した場合、外科的切除に移行するという治療（conversion surgery）の有効性が報告されています。当院でそのような診療を受けた方の診療情報を後方視的に解析します。

研究に用いる試料・情報の種類：以下の情報を診療録より取得いたします。

年齢、性別、術前治療期間、抗癌剤による腫瘍縮小効果、手術関連の治療成績（手術時間、出血量、入院期間、偶発症）、手術での摘出標本の病理学的評価、術後補助化学療法の種類、腫瘍再発の有無、生存期間

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1 岐阜大学医学部附属病院 消化器内科

担当：岩下 拓司 Tel：058-230-7537

Tel：058-230-6000（夜間・休日）

研究責任者

所属：岐阜大学大学院医学系研究科消化器病態学分野 職名：臨床講師 氏名：岩下 拓司